

第4章 情報化の施策

1 個別施策の後期見直し

新型コロナウイルス感染症の拡大により、経済・社会情勢のみならず、人々のあらゆる価値観・生活様式が大きく変容し、デジタルの活用については、もはや社会的な基盤として当たり前求められるほどに、その必要性が増しました。

国においても、デジタル化を強かに推進するため、デジタル社会実現の司令塔として令和3年9月にデジタル庁を設置し、誰一人取り残されない、人にやさしいデジタル化を目指し、「デジタル社会の実現に向けた重点計画」を策定されました。

本市では、2040年(令和22年)には高齢者の割合がさらに増加する一方で、60歳以下は年齢が低下するほど人口が少なくなることが見込まれ、超少子高齢化がさらに進行し、生産年齢人口の絶対量の不足という危機に直面すると予想されます。

このような状況にあっても、持続可能な形で行政サービスを提供し続け、その水準を維持し続けるためには、住む場所、働く場所、子どもを育てる場所として選んでいただくことが重要であり、選んでいただくことにより、まちが賑わい、さらに選んでいただく、そういった好循環が生まれることで、発展し続けるまちになると考えています。

超少子高齢化による生産年齢人口の減少が進行する時代にあっても、発展し続けるまちとなるには、デジタル化やスマート自治体への転換は避けておれないものとなっております。

そこで、デジタルを活用することで、住民の方々が満足度の高い行政サービスを受けられ、地域社会の魅力が向上し、将来にわたって発展し続けることができるまちづくりを目指し、後期個別施策の見直しを行うものです。

2 個別施策

基本目標ごとの具体的な情報化施策として、次の分類による個別施策を定め、基本目標の達成に向けた取組を推進します。

重点施策

基本目標の達成に向けて、早急に取り組む必要がある施策や特に重要度が高く、優先的に取り組む施策、必ず取り組むべき施策。

推進施策

基本目標の達成に向けて、効果が大きいと考えられるもので、費用対効果や実施方法、実施時期などについて、評価・検討の期間を経て取り組む施策。概ね、計画の当該期内に検討を終え、次期までに取り組む。

調査研究施策

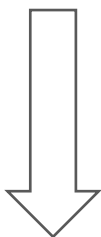
社会情勢や市民ニーズを踏まえ、費用対効果や実施方法などについて、評価・検討に相当な期間を要する施策、及び将来的に効果が期待される事業についての調査研究施策。計画の当該期内に調査研究等を行い、その結果に基づき、推進施策や重点施策に移行する。

継続施策

※後期より新たに追加

各期において、重点施策として取り組み概ね事業が完了した施策で、後期計画において、引き続き利活用の促進等取り組むため、継続施策を新設する。

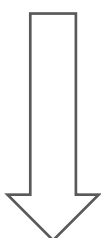
【前期】重点施策 1-1-1 公衆無線LAN^{※1}の整備、活用促進



(前期実施状況)

- ・中央公民館、12交流センター、いづかスポーツ・リゾートテニスコート、穂波福祉総合センターへの公衆無線LANの整備
- ・公衆無線LANを市民講座等へ活用

【中期】重点施策 1-1-1 公衆無線LANの整備、活用促進



(中期実施状況)

- ・アクセスID利用で長時間利用可能な Iizuka_City_Wi-Fi の整備
- ・各支所に市民向けの Iizuka_Free_Wi-Fi の整備
- ・公衆無線LANを市民講座等へ活用

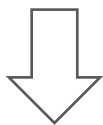
【後期】継続施策 1-1-1 公衆無線LANの活用促進

公共施設への公衆無線LANの整備により、市民の利便性の向上やデジタルデバイド^{※2}対策等に寄与するとともに、災害時の情報収集や通信手段の確保につながっています。今後も公衆無線LANの効率的・効果的な運用に向け、活用を促進します。

※1 公衆無線LAN: ノートパソコン・スマートフォン・タブレット端末などの所有者が、主に外出先や旅行先などの公衆エリアで、無線でインターネットに接続できるサービス(Wi-Fi)のこと。

※2 デジタルデバイド: インターネットやパソコン等の情報通信技術を利用できる人と利用できない人の間に生じる格差、情報格差のこと。

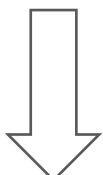
【前期】推進施策 1-1-2 ICTを活用した市民ニーズの把握



(前期実施状況)

- ・電子申請による市民意見公募の実施

【中期】重点施策 1-1-2 ICTを活用した市民ニーズの把握



(中期実施状況)

- ・電子申請による市民意見募集の実施
- ・電子申請によるアンケートの実施

【後期】継続施策 1-1-2 ICTを活用した市民ニーズの把握

市民意見募集や市民アンケート等において、紙媒体によるアンケート等だけでなく、ICTを活用することで、市民からの意見を効率的に収集するとともに、集約についても効率化が図れるため、引き続きICTの活用を推進します。

【後期新規個別施策】

調査研究施策 1-1-3 地域活動におけるデジタル化の推進

自治会活動の一部にデジタルツール(情報共有ツール・デジタル回覧板等)を活用できるよう民間企業と連携して、地域の状況に応じたツールの導入及び利活用を目指し調査研究を行います。

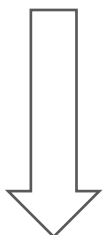
【前期】重点施策 1-2-1 情報通信基盤の整備促進



(前期実施状況)

- ・超音波センサーによる河川水位測定実験の実施
- ・衝撃センサーを活用した鳥獣駆除対策実験の実施

【中期】重点施策 1-2-1 情報通信基盤の整備促進

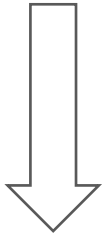


(中期実施状況)

- ・未整備地区の光ファイバ整備
- ・(再掲) I o T を活用した鳥獣対策実証実験を終え、わな監視システムを導入

※情報通信基盤の未整備地区の光ファイバ整備を終えたため廃止。鳥獣対策事業については再掲のため、重点施策 3-1-2 「産学官が連携した産業の ICT 化の推進」として設定します。

【前期】重点施策 1-2-2 SNS等を活用した適時適切な情報発信の推進



(前期実施状況)

- ・従来の Facebook、Twitter、Instagram の運用に加え、平成 30 年度から LINE の運用を開始
- ・市民参加型企画（#飯塚探し）開始によるフォロワー数の増

【中期】重点施策 1-2-2 SNS等を活用した適時適切な情報発信、受信の推進



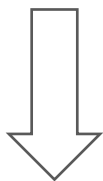
(中期実施状況)

- ・市公式 LINE のシステム改修を実施、各種機能拡充（セグメント配信、予約機能、ゴミ収集日の事前通知サービス等の追加）を実施。フォロワー増に向けチラシ・動画を作成。

【後期】継続施策 1-2-1 SNS等を活用した適時適切な情報発信、受信の推進

本市の公式 SNS (Facebook、X(旧 Twitter)、Instagram、LINE) による情報発信について、リアルタイムな情報発信に努めるとともに、公式 LINE においては、市民が受け取りたい情報を選択し、自分に必要な情報を受け取るセグメント配信の機能を活用し、効果的な情報発信を推進します。

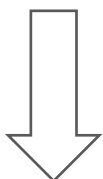
【前期】推進施策 1-2-3 ICTを活用した窓口サービスの改善



(前期実施状況)

- ・手話や主要外国語 11 か国語を遠隔通訳するためのアプリケーションを備えたタブレットを本庁・支所に 5 台設置

【中期】重点施策 1-2-3 「書かない」、「待たせない」スマート窓口の推進



(中期実施状況)

- ・マイナンバーカード利活用の検討
- ・引越し転入・転出ワンストップサービスを開始

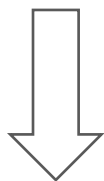
【後期】重点施策 1-2-2 「書かない」、「待たせない」、「行かなくてよい」スマート窓口の推進

窓口サービスにおける市民満足度や利便性の向上と行政事務の効率化を同時に実現するため、「書かない」、「待たせない」、「行かなくてもよい」スマート窓口を導入することにより、フロントヤード^{※1}に係るデジタル化及びバックヤード^{※2}に係るデジタル化を推進します。

※1 フロントヤード: 住民と行政との接点を意味する。

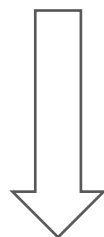
※2 バックヤード: 行政の内部事務を意味する。

【前期】推進施策 1-2-4 電子申請、電子入札など電子自治体の推進



- (前期実施状況)
- ・ 電子申請の開始
 - ・ 電子入札システムの整備

【中期】重点施策 1-2-4 電子申請、電子署名、電子納付等による行政手続きのオンライン^{※1}化



- (中期実施状況)
- ・ 各種証明書等の支払いに係るキャッシュレス決済の導入
 - ・ 電子入札対象業種の拡充
 - ・ 行政手続きのオンライン化の実施

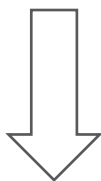
【後期】重点施策 1-2-3 電子申請による行政手続きのオンライン化

市民や事業者の利便性の向上及び行政サービスの効率化につながることから各種申請のオンライン化を推進します。

電子納付については、重点施策 1-2-6 「キャッシュレス化の推進」へ統合。

※1 オンライン:コンピュータなどの機器がネットワークに接続された状態のこと。

【前期】調査研究施策 1-2-5 マイナンバーカードの活用研究



(前期実施状況)
・らくらく申請システム(マイナンバーカードによる住民票・税証明等の交付)の導入検討

【中期】重点施策 1-2-5 マイナンバーカードの活用促進



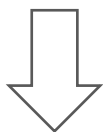
(中期実施状況)
・令和3年度に自治体マイナポイント事業として、地域活性化応援券、セカンドライフ応援ポイント及び健幸ポイントの電子化の実証事業を行った

【後期】重点施策 1-2-4 マイナンバーカードの活用促進

マイナンバーカードについては、コンビニ交付以外での活用等検討を行い、市民の利便性の向上に資するため、マイナンバーカードの活用を促進します。

【中期新規個別施策】

重点施策 1-2-6 AI を活用した窓口サービス改善



(中期実施状況)

- ・ ホームページ、LINE 上で、AI チャットボットの導入

【後期】重点施策 1-2-5 AI を活用した行政サービスの推進

AI の活用については、24 時間いつでもどこでも市民からの問い合わせに対応するため、チャットボットの導入をしています。生成 AI^{※1} については、市民サービス向上や職員の業務負担軽減にも期待ができるため、情報の正確性やセキュリティリスク等を十分に考慮しながら生成 AI の活用を推進します。

【後期新規個別施策】

重点施策 1-2-6 キャッシュレス化の推進

国においては、2025 年(令和 7 年)にキャッシュレス決済比率を 4 割程度とすることを目指しており、本市においても市民の利便性向上に資するため、各種支払いのキャッシュレス化を推進します。

※1 生成 AI : 画像や音楽、文章など様々なデータを学習し、新しいコンテンツを生成することのできる AI のこと。

【前期】重点施策 1-3-1 ペーパーレス化の推進



(前期実施状況)

- ・本庁舎 6 箇所の会議室等へアクセスポイントを増設（計 24 箇所）、穂波庁舎 3 箇所にアクセスポイントを設置

【中期】重点施策 1-3-1 ペーパーレス化の推進



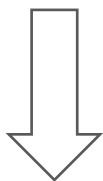
(中期実施状況)

- ・庁内ネットワークの整備を行い、会議資料のペーパーレス化を推進
- ・電子決裁の導入

【後期】重点施策 1-3-1 ペーパーレス化の推進

印刷製本に要する時間削減、消耗品費などのコスト削減、セキュリティ面の強化、書庫等執務室内のスペースをより有効に活用するため、引き続きペーパーレス化を推進します。

【前期】調査研究施策 1-3-3 統合型GISの調査研究



(前期実施状況)

- ・ 統合型GIS^{※1}の導入検討
- ・ 市民向けに公開するGISシステム(公開型GIS^{※2})の導入検討

【中期】重点施策 1-3-2 GISの活用推進



(中期実施状況)

- ・ 行政経営戦略推進本部を立ち上げGIS部会を設置
- ・ 他自治体に先進地視察を行い、公開型GIS・統合型GISの情報収集の実施

【後期】重点施策 1-3-2 統合型・公開型GISの活用推進

現在紙ベースで管理している地図情報、複数部局で別に管理している地図情報を統合型GISにより一元化し全庁的に共有することで行政事務の効率化を図ります。

また、インターネット上に行政の持つ地図情報を公開する公開型GISにより、市民サービスの向上を図るとともに、災害時等には、有用な情報を公開することで市民の安心安全に貢献します。

【中期新規個別施策】

重点施策 1-3-3 RPA活用^{※3}による働き方改革の推進



(中期実施状況)

- ・ 軽自動車税申告書の登録・廃車情報、後期高齢者医療の相続人代表者指定届兼口座指定届及び過誤納金還付請求書情報を基幹系システムへの入力を実施

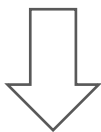
※重点施策 1-3-5 「デジタル技術を活用した業務の効率化」へ統合。

※1 統合型GIS:空間データを複数の部署で共用できるよう整備し、データの重複整備の防止と内部の情報交換の迅速化、効率化を図った地理情報システムのこと。

※2 公開型GIS:インターネットを通じ、市民(事業者)に向けて地図を使って情報発信できる地理情報システムのこと。

※3 RPA(Robotic Process Automation):ソフトウェア・ロボットによる業務自動化。人間が行うキーボードやマウス等の端末操作を自動化する技術。

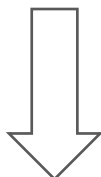
【前期】推進施策 1-3-2 自治体クラウド及び共同利用の推進



(前期実施状況)

- ・職員向けグループウェア共同利用の導入の判断

【中期】推進施策 1-3-4 自治体クラウド・共同利用の推進及び標準準拠システム移行への調査研究



(中期実施状況)

- ・令和7年度までに標準準拠システムへの移行を完了させるため、Fit & Gap^{*1}やRFI^{*2}等を実施

【後期】重点施策 1-3-3 標準準拠システム及びガバメントクラウド^{*3}への移行

国が指定する基幹系システム 20 業務^{*4}について、令和7年度までに国が策定する標準準拠システム及びガバメントクラウドに移行することを目指します。

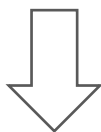
^{*1} Fit&Gap: システム開発において、求める機能とパッケージソフトの機能の適合性を分析する手法のこと。

^{*2} RFI(Request For Information): 情報提供依頼書のこと。業務委託、入札、調達などのための情報収集を目的とする。

^{*3} ガバメントクラウド: 国や地方自治体などすべての行政機関が共通した仕様で行政サービスのシステムを整備できるクラウドサービスのこと。

^{*4} 国が指定する基幹系システム 20 業務: ①児童手当 ②子ども・子育て支援 ③住民基本台帳 ④戸籍の附票 ⑤印鑑登録 ⑥選挙人名簿管理 ⑦固定資産税 ⑧個人住民税 ⑨法人住民税 ⑩軽自動車税 ⑪戸籍 ⑫就学 ⑬健康管理 ⑭児童扶養手当 ⑮生活保護 ⑯障害者福祉 ⑰介護保険 ⑱国民健康保険 ⑲後期高齢者医療 ⑳国民年金

【前期】調査研究施策 1-3-4 モバイル端末の活用研究



(前期実施状況)

- ・モバイル端末利活用実証事業の開始・検証の実施

【中期】推進施策 1-3-5 テレワーク、Web会議^{※1}による柔軟な働き方の推進



(中期実施状況)

- ・モバイル端末機器庁外利用実証事業(モバイル端末を3台から5台に増台)
- ・Web会議システム整備事業(Web会議用端末やその他周辺機器の整備)

【後期】推進施策 1-3-4 Web会議による柔軟な働き方の推進

在宅勤務によるテレワークやWeb会議等の実施により、場所にとらわれない働き方を推進し、災害時や新型コロナウイルス等感染症発生時において事業継続ができるよう環境を整えます。

【後期新規個別施策】

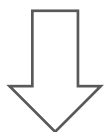
重点施策 1-3-5 デジタル技術を活用した業務の効率化

RPA やデジタルツール等の活用により業務の効率化を図り、限られた予算や人的資源を効果的に活用し効率的な行政運営をすることで、行政サービスの更なる向上につなげます。

^{※1} Web会議：パソコンやスマートフォンなどのデバイスとネット環境により、顔を合わせてコミュニケーションを取れる会議のこと。

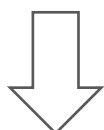
基本目標 1-4 ICTマネジメントの推進

【前期】重点施策 1-4-1 個人情報保護、情報セキュリティ対策の強化



(前期実施状況)
・職員向け情報セキュリティ研修の実施

【中期】重点施策 1-4-1 個人情報保護、情報セキュリティ対策の強化

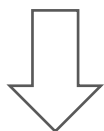


(中期実施状況)
・職員向け情報セキュリティ研修の実施

【後期】継続施策 1-4-1 個人情報保護、情報セキュリティ対策の強化

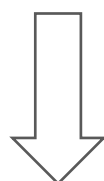
個人情報の保護はもとより、業務に伴う機密情報等適切な情報管理を図るため、技術的な情報セキュリティ対策の強化を講じるとともに、ヒューマンエラー^{*1}による情報漏えいを防止する対策を行います。

【前期】重点施策 1-4-3 職員の情報リテラシー向上の取組



(前期実施状況)
・情報リテラシー研修の実施

【中期】重点施策 1-4-2 職員の情報リテラシー向上の取組



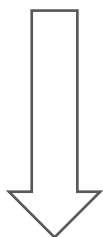
(中期実施状況)
・デジタル人材育成研修の実施
・デジタルマインド、情報リテラシーの意識調査の実施

【後期】重点施策 1-4-2 職員の情報リテラシー向上の取組

適切な情報管理及び地域情報化の前提となる職員の情報リテラシーの向上を図るため、各部署においてDX推進リーダーを育成するとともに、全職員を対象とする研修を実施します。

^{*1} ヒューマンエラー: 人間が原因で起こるトラブルや誤りのこと。

【前期】重点施策 2-1-1 子育て支援情報の受信、発信と共有



(前期実施状況)

- ・飯塚市の公式 LINE における「子育て支援」サイトへのリンクにより情報提供手段を拡大
- ・子育て関連アプリケーションによる情報発信の調査及び研究

【中期】重点施策 2-1-1 子育て支援情報の受信、発信と共有



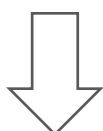
(中期実施状況)

- ・飯塚市公式 LINE に「子育て・教育」の独立ページを導入し、情報発信を行った

【後期】継続施策 2-1-1 子育て支援に関する情報発信

保護者の子育てに対する不安の解消や、安心して子育てしやすい地域づくりのため、公式 LINE におけるセグメント配信の機能を活用し、子育て支援施策や地域の子育て情報などの効果的な情報発信を推進します。

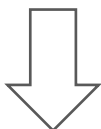
【前期】推進施策 2-1-2 子育てワンストップサービスの推進



(前期実施状況)

- ・電子申請による子育てワンストップ実施の検討

【中期】重点施策 2-1-2 子育てワンストップサービスの推進



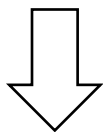
(中期実施状況)

- ・導入に向け関係課と協議を行った。

【後期】重点施策 2-1-2 子育てワンストップサービスの推進

子育て中の保護者の利便性向上につなげるため、児童手当等の子育て関連の申請手続きにおいて、オンライン化によるワンストップサービスを推進します。

【前期】調査研究施策 2-1-3 こども見守りシステムの調査研究



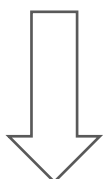
(前期実施状況)

- ・IoT技術を活用したこども見守り実証事業の実施

【中期】推進施策 2-1-3 こども見守りシステムの活用推進

※システム導入が困難と判断したため廃止。

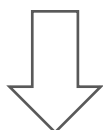
【前期】調査研究施策 2-1-4 子育て相談機能の調査研究



(前期実施状況)

- ・スマートフォン・タブレットを購入し、LINEなどのソーシャルネットワークを活用した相談業務の実施検討

【中期】推進施策 2-1-4 子育て相談機能の推進



(中期実施状況)

- ・Zoomを活用した子育て相談の実施

【後期】推進施策 2-1-3 子育て相談機能の充実

外出が難しい状況にあっても、自宅から子育て相談が可能なオンライン相談環境を活用し、引き続き子育て世代のニーズに沿った相談機能の充実を図ります。

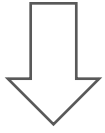
【後期新規個別施策】

推進施策 2-1-4 デジタル技術を活用した子育て支援業務の効率化

保育士の事務作業を軽減させ、処遇改善を図るため、公立保育所・認定こども園に保育園向け業務支援システムの機能拡充について検討します。システムの機能拡充することで様々な面での事務の効率化が図れるため、保育士の事務作業の軽減、保育への専念が可能となるだけでなく、保護者へのアプリを通じた報告・連絡が可能となることにより、利便性の向上を目指します。

基本目標 2-2 ICTで実現する！すべての人が安心して暮らせる保健・医療・福祉の連携と充実

【前期】推進施策 2-2-1 ICTを活用した健康づくりの推進



(前期実施状況)

- ・ 集団検診（健診）の受付を電子申請にて実施

【中期】重点施策 2-2-1 ICTを活用した健康づくりの推進



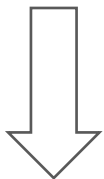
(中期実施状況)

- ・ 集団検診（健診）の受付を電子申請にて実施
- ・ いいつか健幸ポイント事業及び各種関連イベントの実施
- ・ 他自治体連携事業の実施

【後期】継続施策 2-2-1 ICTを活用した健康づくりの促進

市民が気軽に健康づくりに取り組めるように、ICTを活用して集団検診（健診）や健康に関する講座等の情報発信や予約申し込み等ができる環境を整備したため、引き続き活用を促進します。

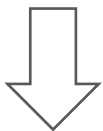
【前期】調査研究施策 2-2-2 単身高齢者等の見守りシステムの調査研究



(前期実施状況)

- ・ 認知症等により徘徊の恐れがある方を選定し、見守り機器の効果について、IoT見守り機器検証実証事業を実施

【中期】推進施策 2-2-2 単身高齢者等の見守りシステムの活用推進



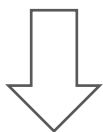
(中期実施状況)

- ・ システムに関する調査及び検討

【後期】重点施策 2-2-2 ICTを活用した単身高齢者等の見守りシステムの活用促進

安心して暮らせる地域の実現に向けて、IoT技術を活用した高齢者等の見守りシステムの活用を促進します。

【前期】調査研究施策 2-2-3 ICTを活用した医療連携の調査研究



(前期実施状況)

- ・タブレット端末を活用した保健指導事業の実施検討

【中期】調査研究施策 2-2-3 ICTを活用した医療連携の調査研究

※実施検討した結果、個人情報漏えい防止のセキュリティ対策が困難なため廃止。

【後期新規個別施策】

推進施策 2-2-3 ミライロIDの活用促進

障がい者手帳アプリ「ミライロID」(デジタル障がい者手帳)を活用した本人確認等の推進のため、当該アプリの紹介・周知を行います。また、併せて飯塚市の公共施設で利用可能な施設情報をミライロに登録し、情報提供を行います。

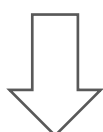
【前期】重点施策 3-1-1 オープンデータの活用促進



(前期実施状況)

- ・データセット 27 (国の推奨する 14 項目について公開含む)
- ・所属長向け研修、アイデアソンの実施、オープンデータ通信の発行 (月 1 回)

【中期】重点施策 3-1-1 オープンデータの活用促進



(中期実施状況)

- ・オープンデータをホームページで公開

【後期】継続施策 3-1-1 オープンデータの活用促進

市が保有している統計情報等を二次利用しやすいデータ形式で公開する「オープンデータ」について、積極的に公開することで、市民参加・官民協働の推進を通じた諸課題の解決、経済活性化、行政の高度化・効率化等が期待されるため、引き続き活用を促進します。

【前期】推進施策 3-1-2 ICTを活用した観光の振興



(前期実施状況)

- ・いづかスポーツ・リゾートテニスコートに整備した公衆無線 LAN を活用し、飯塚国際車いすテニス大会の映像配信を実施
- ・旧伊藤伝右衛門邸及び歴史資料館へ公衆無線 LAN を整備

【中期】重点施策 3-1-2 ICTを活用した観光の振興

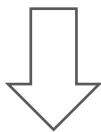


(中期実施状況)

- ・令和 3 年度に多言語版観光案内版の設置
- ・令和 4 年度に観光地 5 カ所の 3D パノラママップを作製

※マップやアプリは民間企業が数多く作成しており、本市独自で作成する必要性は低いと考えるため廃止。

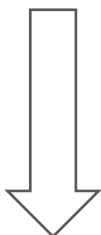
【前期】推進施策 3-1-3 産学官が連携したICT農業の推進



(前期実施状況)

- ・鳥獣対策システム (LPWA^{※1}) の実証実験の実施

【中期】重点施策 3-1-3 産学官が連携した産業のICT化の推進



(中期実施状況)

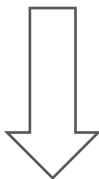
- ・【再掲】IoTを活用した鳥獣対策実証実験を終え、わな監視システムを導入
- ・スマート農業機械導入

【後期】重点施策 3-1-2 産学官が連携した産業のICT化の推進

ICTの活用が幅広い産業分野で進むことが考えられ、業務効率化やアイデアの創出といった効果をもたらすことが期待されることから、産学官の連携を強化し、様々な分野でのICT化を推進します。

^{※1} LPWA(Low Power Wide Area): 消費電力を抑えて遠距離通信を実現する無線通信技術。IoT向けなどに有用な技術とされ、実用化され始めている。

【前期】推進施策 3-1-4 ITスキルを持った人材等による創業や市内企業のIT・IoT化の促進



(前期実施状況)

- ・IT系等の創業希望者等に対し、コンサルタント派遣を実施しIT系企業誘致

【中期】推進施策 3-1-4 ITスキルを持った人材による市内企業のデジタル・トランスフォーメーション^{※1}の促進



(中期実施状況)

- ・先端情報技術開発支援補助金交付の実施及び先端情報技術開発実証実験サポート事業の実施
- ・IT系等企業誘致の実施

【後期】推進施策 3-1-3 ITスキルを持った人材による市内企業のデジタル・トランスフォーメーションの促進

専門アドバイザーがIT系等の創業希望者を含む市内企業の成長段階に応じた支援を行うとともに、都市圏IT企業と市内企業及び市内大学との連携促進に関し支援等を行い、市内企業のDXを促進します。

【中期新規個別施策】

調査研究施策 3-1-5 電子地域通貨導入の調査研究



(中期実施状況)

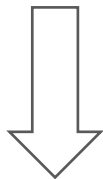
- ・令和3年10月から電子化が開始されたが、対象者が60歳以上ということもあり、利用実績は1件

※令和3年度までの実施事業のため廃止。

※1 デジタル・トランスフォーメーション(DX):企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること。

【中期新規個別施策】

調査研究施策 3-1-6 ICTを活用した地域経済の活性化



(中期実施状況)

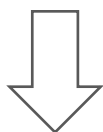
- ・令和3年度より発行数の一部を電子化し、令和5年度は発行数の全ての応援券を電子化

【後期】推進施策 3-1-4 ICTを活用した地域経済の活性化

市民の外出機会と消費の喚起を図るため、市内の幅広い業種で利用できるプレミアム付き応援券の電子化を行う等、ICTを活用した地域経済の活性化を図ります。

【中期新規個別施策】

調査研究施策 3-1-7 ビッグデータ・パーソナルデータを活用したスマートシティ※¹の推進



(中期実施状況)

- ・【再掲】先端情報技術開発支援補助金交付の実施及び先端情報技術開発実証実験サポート事業の実施
- ・【再掲】いいつか健幸ポイント事業及び各種関連イベントの実施
- ・【再掲】他自治体連携事業の実施

【後期】推進施策 3-1-5 ビッグデータ・パーソナルデータを活用したスマートシティの推進

AIやIoTなどの技術やビッグデータ・パーソナルデータの活用により地域の機能やサービスを効率化・高度化し、各種の課題の解決を推進します。

※¹ スマートシティ:ICTやAIなどの先端技術や、人の流れや消費動向、土地や施設の利用状況といったビッグデータ等を活用し、エネルギーや交通、行政サービスなどのインフラ(社会基盤)を効率的に管理・運用する都市の概念。環境に配慮しながら、住民にとって、よりよい暮らしの実現を図る。

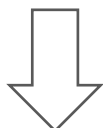
【前期】重点施策 4-1-1 教育用 ICT 機器等の整備推進



(前期実施状況)

- ・ 小学校 1 年生から中学校 3 年生までの普通教室へ電子黒板を整備
(累計 320 台)
- ・ 小学校 1 年生から中学校 3 年生までの児童生徒に 1 人 1 台のタブレットパソコンを整備 (9,923 台)

【中期】重点施策 4-1-1 教育用 ICT 機器等の活用推進



(中期実施状況)

- ・ 市立小中学校の普通教室及び特別教室に電子黒板の整備

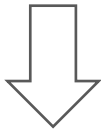
【後期】継続施策 4-1-1 教育用 ICT 機器等の活用推進

整備した電子黒板や ICT 機器の活用による効果的な学習を充実するとともに、児童生徒の情報活用能力の育成を図ります。また、STEAM 教育^{※1}及び GIGA 端末^{※2}では性能的に実現が困難な学習活動を実現するため、児童生徒 1 人 1 台端末環境下におけるパソコン教室の在り方について調査研究を行い、パソコン教室の充実に向けたモデル構成の確立を目指します。

※1 STEAM 教育: Science(科学)、Technology(技術)、Engineering(工学)、Mathematics(数学)、Arts(芸術・教養)の頭文字からなる造語で、理数教育に創造性教育をプラスした教育理念のこと。

※2 GIGA 端末: 多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育 ICT 環境を実現する GIGA スクール構想において児童生徒に整備された 1 人 1 台の端末のこと。

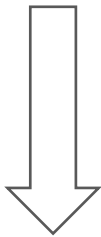
【前期】重点施策 4-1-2 学校間ネットワークの最適化と活用の推進



(前期実施状況)

- ・ネットワーク回線の増強、セキュリティ強靱化対策事業実施

【中期】重点施策 4-1-2 学校間ネットワークの最適化と活用の推進



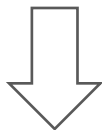
(中期実施状況)

- ・ネットワーク帯域の調査実施
- ・ネットワーク改善のための設定変更の実施
- ・ICT推進委員会の設置及びICT活用の協議

【後期】重点施策 4-1-2 学校間ネットワークの最適化と活用の推進

学校における校務の効率化や負担軽減を図るため、統合型校務支援システムの整備を行い、教員の働き方改革を推進します。

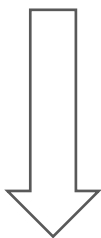
【前期】推進施策 4-1-3 ICTを活用した校務の効率化の推進



(前期実施状況)

- ・校務用パソコンをタブレット型にて整備（累計830台）

【中期】重点施策 4-1-3 ICTを活用した校務の効率化、活用推進

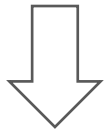


(中期実施状況)

- ・次期ネットワーク整備のための情報収集
- ・教育クラウドプラットフォームの導入
- ・教職員向け研修の実施

※令和3年度に授業支援ツール及び令和5年度に学習eポータルを導入したため、導入についての調査研究は終了となるため廃止。

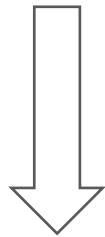
【前期】調査研究施策 4-1-4 教育クラウド及び共同利用の調査研究



(前期実施状況)

- ・教育クラウドプラットフォームの調査研究

【中期】調査研究施策 4-1-4 教育クラウド及び共同利用の調査研究



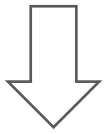
(中期実施状況)

- ・次期ネットワーク整備のための情報収集
- ・教育クラウドプラットフォームの導入
- ・教職員向け研修の実施

※令和 3 年度に授業支援ツール及び令和 5 年度に学習 e ポータルを導入したため、導入についての調査研究は終了となるため廃止。

基本目標 4-2 ICTを活用した生涯学習やスポーツ、歴史、文化の振興

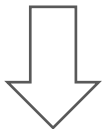
【前期】推進施策 4-2-1 ICTによる歴史的・文化的遺産の活用推進



(前期実施状況)

- ・デジタルアーカイブ^{※1}、遺跡情報システムの公開

【中期】重点施策 4-2-1 ICTによる歴史的・文化的遺産の活用推進



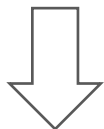
(中期実施状況)

- ・炭鉱関連資料、収蔵資料のデジタルアーカイブス化を実施

【後期】継続施策 4-2-1 ICTによる歴史的・文化的遺産の活用推進及び利便性の向上

ICTを活用し、史跡・建造物等のVR^{※2}化、飯塚市歴史資料館収蔵資料のアーカイブス化を行い、市民共有の財産である文化財等について、教育や観光などへの活用を推進します。

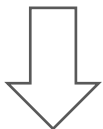
【前期】推進施策 4-2-2 ICTを活用した施設利用の利便性向上



(前期実施状況)

- ・旧伊藤伝右衛門邸3Dパノラマビューの公開

【中期】重点施策 4-2-2 ICTを活用した施設利用の利便性向上



(中期実施状況)

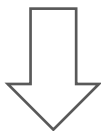
- ・指定登録文化財のデジタルアーカイブス化を実施

※継続施策 4-2-1「ICTによる歴史的・文化的遺産の活用推進及び利便性の向上」へ統合。

※1 デジタルアーカイブ:文書や文化資源などを電子データの形で長期的に保管する記録方式。

※2 VR:「Virtual Reality」の略で、「人工現実感」や「仮想現実」を意味する。

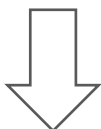
【前期】推進施策 4-2-3 市民の情報リテラシー向上の取組



(前期実施状況)

- ・各交流センターでパソコン教室等の市民向け講座等の実施

【中期】重点施策 4-2-3 市民の情報リテラシー向上の取組



(中期実施状況)

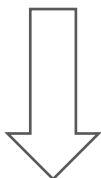
- ・プログラミング講座やスマホ講座等 ICT 関連講座の実施

【後期】継続施策 4-2-2 市民の情報リテラシー向上の取組

交流センター等で各種講座、e-マナビ、放課後子ども教室等で ICT 関連の事業を拡充し、子どもから高齢者まで、市民が情報化の恩恵を受けることができるよう学びの場を提供することにより、情報リテラシーの向上に取り組みます。

【中期新規個別施策】

調査研究施策 4-2-4 電子納付による施設利用の利便性向上



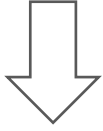
(中期実施状況)

- ・導入に向け先進自治体等の視察
- ・展示会での情報収集の実施

※重点施策 1-2-6 「キャッシュレス化の推進」へ統合。

【中期新規個別施策】

調査研究施策 4-2-5 ICTを活用した生涯学習事業の推進



(中期実施状況)

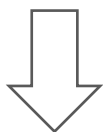
- ・電子書籍貸出システムの導入に向けた市民アンケート実施

【後期】推進施策 4-2-3 ICTを活用した生涯学習事業の推進

「いつでも どこでも だれでも」学ぶことのできる環境構築などICTを活用した生涯学習事業を推進します。

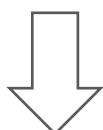
基本目標 5-1 安全・安心で快適なまちづくりの支援

【前期】重点施策 5-1-1 地域防災における ICT の活用推進



(前期実施状況)
・被災者支援システムの構築

【中期】重点施策 5-1-1 地域防災における ICT/IoT の活用推進

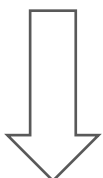


(中期実施状況)
・河川監視カメラ画像の閲覧を行い、災害対応に活用

【後期】重点施策 5-1-1 地域防災における ICT/IoT の活用推進

IoTを活用した河川モニタリングによる防災対策を推進します。また、大雨や台風による事前避難者の把握や、大規模災害時に、被災者が公的支援を受けるために必要となる罹災証明書の発行等を迅速かつ効率的に行えるよう被災者支援システムの活用を推進します。

【前期】調査研究施策 5-1-4 安全・安心、防犯情報共有化の調査研究



(前期実施状況)
・GISにおいて、災害時に危険区域（浸水想定区域等）に居住している避難行動要支援者を把握するためのデータ整備を実施

【中期】推進施策 5-1-2 安全安心・防災減災情報共有化の推進



(中期実施状況)
・避難場所情報等を災害マップに掲載
・防災関連情報の配信

【後期】推進施策 5-1-2 安全安心・防災減災情報共有化の推進

ICTを活用し、災害に強いまちづくり、安全安心な暮らしやすいまちづくりを推進するために、SNS等を通じて防災等に関する情報発信を行います。